中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版A

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という
ア 御伽草子　イ 奉公　ウ 応仁の乱

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 土倉　イ 運慶　ウ 北条泰時

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア 北条政子　イ 土倉　ウ 後醍醐天皇

(4) 承久の乱が起きたのは（　　）である
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1274年

(5) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 源頼朝　イ 足利義満　ウ 土倉

(6) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ
ア 勘合　イ 連歌　ウ 浄土真宗

(7) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 運慶　イ 守護大名　ウ 雪舟

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という
ア 連歌　イ 南北朝時代　ウ 承久の乱

(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という
ア 勘合貿易　イ 浄土宗　ウ 永仁の徳政令

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 御家人　イ 倭寇　ウ アイヌ民族

(13) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(14) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 臨済宗　イ 御成敗式目　ウ 中継貿易

(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ
ア 正長の土一揆　イ 浄土真宗　ウ 承久の乱

(16) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 狂言　イ 下剋上　ウ 封建制度

(17) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ
ア 足利義政　イ 御家人　ウ 運慶

(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という
ア 座　イ 惣　ウ 問

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 下剋上　イ 新古今和歌集　ウ 能

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という
ア 水墨画　イ 地頭　ウ 壇ノ浦の戦い

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版B

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 平氏がほろびた戦いは（　　）である
ア 日蓮宗　イ 曹洞宗　ウ 壇ノ浦の戦い

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という
ア 土一揆　イ 水墨画　ウ 封建制度

(3) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(4) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ
ア 狂言　イ 浄土真宗　ウ 守護

(5) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 承久の乱　イ 永仁の徳政令　ウ 地頭

(6) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 北条泰時

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という
ア 管領　イ 時宗　ウ 書院造

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という
ア 日蓮宗　イ 倭寇　ウ 壇ノ浦の戦い

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という
ア 書院造　イ 建武の新政　ウ 下剋上

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 土一揆　イ 中継貿易　ウ 水墨画

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(14) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 酒屋　イ 土倉　ウ 馬借

(15) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である
ア 応仁の乱　イ 御伽草子　ウ 水墨画

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(17) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ
ア 南北朝時代　イ 山城国一揆　ウ 時宗

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 能　イ 中継貿易　ウ 新古今和歌集

(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という
ア 山城国一揆　イ 勘合貿易　ウ 水墨画

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 時宗　イ 連歌　ウ 奉公

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版C

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である
ア 運慶　イ 後鳥羽上皇　ウ 雪舟

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1281年

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という
ア 奉公　イ 新古今和歌集　ウ 臨済宗

(4) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア フビライ・ハン　イ 北条政子　ウ 北条時宗

(5) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という
ア 地頭　イ 狂言　ウ 時宗

(6) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である
ア 土倉　イ 源義経　ウ 戦国大名

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である
ア アイヌ民族　イ 北条時宗　ウ 御家人

(8) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である
ア 執権　イ 奉公　ウ 臨済宗

(9) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 水墨画　イ 中継貿易　ウ 書院造

(10) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 御家人　イ アイヌ民族　ウ 倭寇

(11) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という
ア 御伽草子　イ 書院造　ウ 南北朝時代

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である
ア 御家人　イ 北条時宗　ウ 足利義満

(13) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 浄土宗　イ 分国法　ウ 浄土真宗

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である
ア 1392年　イ 1467年　ウ 1428年

(15) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 馬借　イ 土倉　ウ 酒屋

(16) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という
ア 惣　イ 寄合　ウ 座

(17) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 御伽草子　イ 封建制度　ウ 曹洞宗

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 連歌　イ 管領　ウ 南北朝時代

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 臨済宗　イ 新古今和歌集　ウ 能

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という
ア 水墨画　イ 山城国一揆　ウ 御恩

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版D

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という
ア 戦国大名　イ 御家人　ウ 守護大名

(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という
ア 平家物語　イ 分国法　ウ 守護

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア 北条政子　イ アイヌ民族　ウ フビライ・ハン

(4) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ
ア 管領　イ 執権　ウ 六波羅探題

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 北条泰時　イ 足利義政　ウ 馬借

(6) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 運慶　イ 源頼朝　ウ 後醍醐天皇

(7) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である
ア アイヌ民族　イ 足利尊氏　ウ 北条時宗

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 運慶　イ 北条泰時　ウ アイヌ民族

(10) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 明　イ 琉球王国　ウ 朝鮮国

(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という
ア 地頭　イ 永仁の徳政令　ウ 勘合貿易

(12) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という
ア 浄土真宗　イ 建武の新政　ウ 狂言

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 倭寇　イ アイヌ民族　ウ 御家人

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という
ア 惣　イ 問　ウ 座

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 分国法　イ 守護　ウ 連歌

(16) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という
ア 時宗　イ 土一揆　ウ 書院造

(17) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣

(18) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 日蓮宗　イ 元寇　ウ 御伽草子

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 連歌　イ 管領　ウ 勘合貿易

(20) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 運慶　イ 雪舟　ウ アイヌ民族

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版E

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 平氏がほろびた戦いは（　　）である
ア 山城国一揆　イ 新古今和歌集　ウ 壇ノ浦の戦い

(2) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ
ア 管領　イ 六波羅探題　ウ 執権

(4) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という
ア 一向一揆　イ 守護　ウ 浄土宗

(5) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である
ア 源義経　イ 北条時宗　ウ 後醍醐天皇

(6) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 承久の乱　イ 能　ウ 永仁の徳政令

(7) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 徒然草　ウ 平家物語

(8) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ
ア 御恩　イ 日蓮宗　ウ 執権

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 源義経　イ 運慶　ウ 後鳥羽上皇

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という
ア 狂言　イ 倭寇　ウ 一向一揆

(11) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 朝鮮国　イ 明　ウ 琉球王国

(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という
ア 新古今和歌集　イ 永仁の徳政令　ウ 南北朝時代

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(14) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ
ア 勘合貿易　イ 正長の土一揆　ウ 勘合

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 執権　イ 下剋上　ウ 御伽草子

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 土倉　イ 馬借　ウ 酒屋

(17) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である
ア 銀閣　イ 金閣　ウ 東大寺南大門

(18) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 雪舟　イ フビライ・ハン　ウ 足利尊氏

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 正長の土一揆　イ 狂言　ウ 徒然草

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 山城国一揆　イ 連歌　ウ 応仁の乱

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版F

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である
ア 戦国大名　イ 足利義満　ウ 後鳥羽上皇

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という
ア 永仁の徳政令　イ 平家物語　ウ 地頭

(3) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という
ア 日蓮宗　イ 新古今和歌集　ウ 封建制度

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である
ア 源義経　イ 北条時宗　ウ 守護大名

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 執権　イ 勘合　ウ 連歌

(6) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 北条泰時　イ アイヌ民族　ウ 足利義満

(7) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ
ア 水墨画　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 浄土真宗

(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という
ア 元寇　イ 守護　ウ 狂言

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という
ア 曹洞宗　イ 浄土真宗　ウ 建武の新政

(11) 南北朝が統一されたのは（　　）である
ア 1467年　イ 1392年　ウ 1338年

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 徒然草　イ 中継貿易　ウ 封建制度

(14) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という
ア 土倉　イ 問　ウ 馬借

(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ
ア 時宗　イ 正長の土一揆　ウ 執権

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 曹洞宗　イ 分国法　ウ 壇ノ浦の戦い

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 戦国大名　イ 雪舟　ウ 御家人

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 土一揆　イ 能　ウ 奉公

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 御伽草子　イ 臨済宗　ウ 正長の土一揆

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 曹洞宗　イ 臨済宗　ウ 連歌

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版G

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という
ア 守護　イ 土一揆　ウ 下剋上

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 北条泰時　イ フビライ・ハン　ウ 馬借

(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ
ア 執権　イ 六波羅探題　ウ 管領

(4) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である
ア 日蓮宗　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 浄土真宗

(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア 北条政子　イ 守護大名　ウ 戦国大名

(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ
ア 南北朝時代　イ 承久の乱　ウ 日蓮宗

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 運慶　イ 源頼朝　ウ 北条泰時

(10) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である
ア 北条政子　イ フビライ・ハン　ウ 足利尊氏

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という
ア 建武の新政　イ 浄土宗　ウ 連歌

(12) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という
ア 狂言　イ 倭寇　ウ 応仁の乱

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 明　イ 琉球王国　ウ 朝鮮国

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という
ア 惣　イ 座　ウ 問

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 分国法　イ 承久の乱　ウ 永仁の徳政令

(16) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ
ア 後鳥羽上皇　イ 足利義政　ウ 源義経

(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という
ア 土一揆　イ 浄土宗　ウ 勘合

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という
ア 応仁の乱　イ 書院造　ウ 日蓮宗

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 正長の土一揆　イ 倭寇　ウ 連歌

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 能　イ 勘合貿易　ウ 一向一揆

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版H

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ
ア 正長の土一揆　イ 下剋上　ウ 承久の乱

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 土倉　イ 守護大名　ウ 北条泰時

(3) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という
ア 封建制度　イ 永仁の徳政令　ウ 浄土宗

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 足利尊氏　イ 源頼朝　ウ 足利義満

(5) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(6) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である
ア 浄土宗　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 山城国一揆

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である
ア 源頼朝　イ 土倉　ウ フビライ・ハン

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 後醍醐天皇　イ 足利尊氏　ウ 運慶

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 御恩　イ 永仁の徳政令　ウ 執権

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ
ア 後醍醐天皇　イ 後鳥羽上皇　ウ 足利義政

(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という
ア 管領　イ 時宗　ウ 御恩

(12) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ
ア 守護大名　イ 運慶　ウ 足利義政

(13) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 下剋上　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 守護

(14) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ
ア 能　イ 山城国一揆　ウ 水墨画

(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という
ア 土倉　イ 馬借　ウ 問

(16) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 連歌　イ 管領　ウ 地頭

(17) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という
ア 地頭　イ 浄土真宗　ウ 水墨画

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 正長の土一揆　イ 能　ウ 時宗

(19) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 中継貿易　イ 御伽草子　ウ 勘合貿易

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版I

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という
ア 勘合貿易　イ 地頭　ウ 連歌

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である
ア 1232年　イ 1221年　ウ 1274年

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である
ア 1221年　イ 1281年　ウ 1232年

(5) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 源頼朝

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 応仁の乱　イ 連歌　ウ 執権

(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 足利尊氏　イ 運慶　ウ 後鳥羽上皇

(8) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である
ア フビライ・ハン　イ 北条政子　ウ 馬借

(9) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(10) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 一向一揆　イ 正長の土一揆　ウ 永仁の徳政令

(11) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という
ア 能　イ 御恩　ウ 倭寇

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 朝鮮国　イ 琉球王国　ウ 明

(13) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ
ア 戦国大名　イ 足利義政　ウ 後醍醐天皇

(14) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 下剋上　イ 奉公　ウ 御成敗式目

(15) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という
ア 一向一揆　イ 奉公　ウ 新古今和歌集

(16) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である
ア 徒然草　イ 応仁の乱　ウ 狂言

(17) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ
ア 山城国一揆　イ 勘合　ウ 地頭

(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という
ア 惣　イ 座　ウ 問

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 狂言　イ 日蓮宗　ウ 土一揆

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 水墨画

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版J

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という
ア 土一揆　イ 封建制度　ウ 平家物語

(2) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 執権　イ 倭寇　ウ 応仁の乱

(3) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という
ア 勘合貿易　イ 勘合　ウ 守護

(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である
ア 元寇　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 管領

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である
ア 後醍醐天皇　イ 北条泰時　ウ 戦国大名

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である
ア 御成敗式目　イ 時宗　ウ 奉公

(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である
ア 徒然草　イ 平家物語　ウ 新古今和歌集

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 運慶　イ 足利義政　ウ 後鳥羽上皇

(9) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 足利尊氏

(10) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(11) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 永仁の徳政令　イ 承久の乱　ウ 建武の新政

(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ
ア 運慶　イ 雪舟　ウ 後醍醐天皇

(13) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という
ア 山城国一揆　イ 下剋上　ウ 倭寇

(14) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 明　イ 朝鮮国　ウ 琉球王国

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ
ア 山城国一揆　イ 地頭　ウ 南北朝時代

(16) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ
ア 御家人　イ 足利義満　ウ 足利義政

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という
ア 土倉　イ 馬借　ウ 問

(18) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 時宗　イ 分国法　ウ 勘合貿易

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 勘合　イ 管領　ウ 能

(20) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という
ア 倭寇　イ 書院造　ウ 勘合

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版K

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である
ア 御成敗式目　イ 永仁の徳政令　ウ 分国法

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ
ア 南北朝時代　イ 御恩　ウ 下剋上

(3) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ
ア 永仁の徳政令　イ 元寇　ウ 承久の乱

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である
ア 足利義満　イ 源義経　ウ 北条時宗

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 正長の土一揆　イ 執権　ウ 曹洞宗

(6) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である
ア 倭寇　イ 曹洞宗　ウ 勘合

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という
ア 元寇　イ 地頭　ウ 御成敗式目

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 分国法　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 永仁の徳政令

(10) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ
ア 足利尊氏　イ 北条時宗　ウ 後鳥羽上皇

(11) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という
ア 地頭　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 勘合

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 曹洞宗　イ 臨済宗　ウ 中継貿易

(14) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という
ア 寄合　イ 惣　ウ 座

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 土倉　イ 馬借　ウ 酒屋

(17) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という
ア 守護　イ 書院造　ウ 新古今和歌集

(18) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である
ア 東大寺南大門　イ 金閣　ウ 銀閣

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 山城国一揆　イ 狂言　ウ 奉公

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 臨済宗　イ 御伽草子　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版L

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である
ア 御成敗式目　イ 能　ウ 水墨画

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ
ア 時宗　イ 徒然草　ウ 御恩

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である
ア 1274年　イ 1221年　ウ 1232年

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である
ア 運慶　イ 後醍醐天皇　ウ 源義経

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 勘合貿易　イ 御伽草子　ウ 執権

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である
ア 時宗　イ 山城国一揆　ウ 封建制度

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という
ア 能　イ 元寇　ウ 御恩

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 永仁の徳政令　イ 下剋上　ウ 建武の新政

(10) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という
ア 曹洞宗　イ 勘合　ウ 水墨画

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ
ア 北条時宗　イ 足利尊氏　ウ 雪舟

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 明　イ 朝鮮国　ウ 琉球王国

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である
ア 1428年　イ 1392年　ウ 1467年

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という
ア 座　イ 寄合　ウ 惣

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という
ア 問　イ 馬借　ウ 土倉

(18) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 後鳥羽上皇　イ 北条泰時　ウ 雪舟

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 倭寇　イ 南北朝時代　ウ 狂言

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 応仁の乱　イ 御伽草子　ウ 分国法

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版M

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ
ア 勘合　イ 南北朝時代　ウ 御恩

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1281年

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア 北条政子　イ 土倉　ウ 運慶

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 源頼朝　イ アイヌ民族　ウ 雪舟

(5) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である
ア 能　イ 奉公　ウ 曹洞宗

(6) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である
ア 源義経　イ 足利尊氏　ウ フビライ・ハン

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である
ア 1467年　イ 1392年　ウ 1338年

(10) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という
ア 管領　イ 一向一揆　ウ 新古今和歌集

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ
ア 御家人　イ 北条時宗　ウ 足利尊氏

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 承久の乱　イ 中継貿易　ウ 水墨画

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア 御家人　イ アイヌ民族　ウ 倭寇

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である
ア 応仁の乱　イ 徒然草　ウ 勘合

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という
ア 南北朝時代　イ 時宗　ウ 土一揆

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(17) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という
ア 座　イ 惣　ウ 問

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という
ア 書院造　イ 執権　ウ 山城国一揆

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 下剋上　イ 狂言　ウ 奉公

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 御伽草子　イ 分国法　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版N

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ
ア 勘合　イ 応仁の乱　ウ 承久の乱

(2) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である
ア 御成敗式目　イ 新古今和歌集　ウ 土一揆

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という
ア 奉公　イ 応仁の乱　ウ 勘合

(4) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という
ア 平家物語　イ 地頭　ウ 一向一揆

(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である
ア 壇ノ浦の戦い　イ 水墨画　ウ 浄土真宗

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ
ア 建武の新政　イ 執権　ウ 徒然草

(7) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である
ア 中継貿易　イ 水墨画　ウ 浄土宗

(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という
ア 奉公　イ 勘合　ウ 元寇

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(10) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である
ア 北条泰時　イ 足利義満　ウ 源頼朝

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ
ア 足利尊氏　イ 土倉　ウ フビライ・ハン

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という
ア 中継貿易　イ 御伽草子　ウ 曹洞宗

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ
ア アイヌ民族　イ 御家人　ウ 倭寇

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である
ア 1467年　イ 1428年　ウ 1392年

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という
ア 座　イ 寄合　ウ 惣

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 馬借　イ 酒屋　ウ 土倉

(17) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 奉公　イ 下剋上　ウ 壇ノ浦の戦い

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という
ア 書院造　イ 曹洞宗　ウ 正長の土一揆

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 守護　イ 狂言　ウ 南北朝時代

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 御伽草子　イ 承久の乱　ウ 分国法

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版O

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である
ア 足利義満　イ 後鳥羽上皇　ウ アイヌ民族

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である
ア 1281年　イ 1221年　ウ 1232年

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ
ア 御恩　イ 浄土真宗　ウ 臨済宗

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である
ア 土倉　イ 源義経　ウ 戦国大名

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア 雪舟　イ 北条政子　ウ 守護大名

(6) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である
ア 勘合　イ 建武の新政　ウ 臨済宗

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である
ア 後鳥羽上皇　イ フビライ・ハン　ウ 土倉

(8) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ
ア 応仁の乱　イ 永仁の徳政令　ウ 下剋上

(9) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 後醍醐天皇　イ 運慶　ウ 源義経

(11) 南北朝が統一されたのは（　　）である
ア 1338年　イ 1467年　ウ 1392年

(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ
ア 後醍醐天皇　イ 北条時宗　ウ 足利義政

(13) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という
ア 管領　イ 能　ウ 元寇

(14) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 琉球王国　イ 朝鮮国　ウ 明

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という
ア 時宗　イ 御伽草子　ウ 土一揆

(16) 応仁の乱が始まったのは（　　）である
ア 1428年　イ 1467年　ウ 1392年

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という
ア 問　イ 馬借　ウ 土倉

(18) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 戦国大名　イ 雪舟　ウ 足利尊氏

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という
ア 応仁の乱　イ 狂言　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版P

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という
ア 奉公　イ 平家物語　ウ 倭寇

(2) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ
ア 臨済宗　イ 時宗　ウ 承久の乱

(3) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である
ア 永仁の徳政令　イ 御成敗式目　ウ 浄土真宗

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である
ア 後醍醐天皇　イ 足利義満　ウ 源頼朝

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である
ア フビライ・ハン　イ 後醍醐天皇　ウ 北条政子

(6) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ
ア 日蓮宗　イ 倭寇　ウ 能

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という
ア 元寇　イ 倭寇　ウ 能

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ
ア 後鳥羽上皇　イ 運慶　ウ 足利尊氏

(9) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である
ア 足利義満　イ 馬借　ウ 土倉

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という
ア 南北朝時代　イ 平家物語　ウ 水墨画

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という
ア 戦国大名　イ 御家人　ウ 守護大名

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である
ア 琉球王国　イ 朝鮮国　ウ 明

(13) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ
ア 正長の土一揆　イ 奉公　ウ 執権

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である
ア 応仁の乱　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 元寇

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という
ア 下剋上　イ 永仁の徳政令　ウ 中継貿易

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という
ア 酒屋　イ 土倉　ウ 馬借

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である
ア 運慶　イ 雪舟　ウ 後鳥羽上皇

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という
ア 封建制度　イ 能　ウ 執権

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という
ア 連歌　イ 勘合貿易　ウ 平家物語

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という
ア 守護　イ 徒然草　ウ 御伽草子

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Q

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 鎌倉幕府で武士をまとめた役所を（　　）という
ア 問注所　イ 政所　ウ 侍所

(2) 鎌倉幕府で裁判の仕事を受け持った役所を（　　）という
ア 侍所　イ 政所　ウ 問注所

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という
ア 御伽草子　イ 土一揆　ウ 奉公

(4) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である
ア 元寇　イ 御成敗式目　ウ 中継貿易

(5) 鴨長明が書いた随筆が（　　）である
ア 枕草子　イ 方丈記　ウ 徒然草

(6) 博多湾の沿岸に築かれた石の防壁を（　　）という
ア 分国法　イ 山城国一揆　ウ 防塁

(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(8) 関東を治めるために置かれた機関が（　　）である
ア 侍所　イ 鎌倉府　ウ 六波羅探題

(9) 李成桂が高麗をたおして建てた国が（　　）だ
ア 高麗　イ 朝鮮国　ウ 明

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ
ア 足利義政　イ 北条政子　ウ 後醍醐天皇

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(12) 同じ田畑で1年に米と麦などをつくる方法を（　　）という
ア 二毛作　イ 中継貿易　ウ 連歌

(13) 会合衆とよばれる豪商たちが自治を行った都市は（　　）である
ア 堺　イ 長崎　ウ 鎌倉

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という
ア 奉公　イ 一向一揆　ウ 地頭

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ
ア 浄土真宗　イ 山城国一揆　ウ 平家物語

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という
ア 平家物語　イ 分国法　ウ 勘合貿易

(17) 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある文化が（　　）だ
ア 北山文化　イ 天平文化　ウ 東山文化

(18) 石や砂で山や水の流れを表した庭園を（　　）という
ア 封建制度　イ 枯山水　ウ 曹洞宗

(19) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である
ア 銀閣　イ 東大寺南大門　ウ 金閣

(20) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Aの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　　イ
ア 御伽草子　イ 奉公　ウ 応仁の乱

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　ウ
ア 土倉　イ 運慶　ウ 北条泰時

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　ア
ア 北条政子　イ 土倉　ウ 後醍醐天皇

(4) 承久の乱が起きたのは（　　）である　　ア
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1274年

(5) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　ア
ア 源頼朝　イ 足利義満　ウ 土倉

(6) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ　　ウ
ア 勘合　イ 連歌　ウ 浄土真宗

(7) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　ア
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　ア
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　ア
ア 運慶　イ 守護大名　ウ 雪舟

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という　　イ
ア 連歌　イ 南北朝時代　ウ 承久の乱

(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という　　ア
ア 勘合貿易　イ 浄土宗　ウ 永仁の徳政令

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　ウ
ア 御家人　イ 倭寇　ウ アイヌ民族

(13) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　ア
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(14) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　ウ
ア 臨済宗　イ 御成敗式目　ウ 中継貿易

(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　　ア
ア 正長の土一揆　イ 浄土真宗　ウ 承久の乱

(16) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　イ
ア 狂言　イ 下剋上　ウ 封建制度

(17) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　ア
ア 足利義政　イ 御家人　ウ 運慶

(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　ア
ア 座　イ 惣　ウ 問

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　ウ
ア 下剋上　イ 新古今和歌集　ウ 能

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　　ア
ア 水墨画　イ 地頭　ウ 壇ノ浦の戦い

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Bの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　ウ
ア 日蓮宗　イ 曹洞宗　ウ 壇ノ浦の戦い

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　ウ
ア 土一揆　イ 水墨画　ウ 封建制度

(3) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である　ア
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(4) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ　イ
ア 狂言　イ 浄土真宗　ウ 守護

(5) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　イ
ア 承久の乱　イ 永仁の徳政令　ウ 地頭

(6) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　ウ
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　イ
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 北条泰時

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　ア
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　ア
ア 管領　イ 時宗　ウ 書院造

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　イ
ア 日蓮宗　イ 倭寇　ウ 壇ノ浦の戦い

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　イ
ア 書院造　イ 建武の新政　ウ 下剋上

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　イ
ア 土一揆　イ 中継貿易　ウ 水墨画

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　ウ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(14) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　ウ
ア 酒屋　イ 土倉　ウ 馬借

(15) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　ア
ア 応仁の乱　イ 御伽草子　ウ 水墨画

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　イ
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(17) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　イ
ア 南北朝時代　イ 山城国一揆　ウ 時宗

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　ア
ア 能　イ 中継貿易　ウ 新古今和歌集

(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　ウ
ア 山城国一揆　イ 勘合貿易　ウ 水墨画

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　イ
ア 時宗　イ 連歌　ウ 奉公

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Cの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　イ
ア 運慶　イ 後鳥羽上皇　ウ 雪舟

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　イ
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1281年

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　ア
ア 奉公　イ 新古今和歌集　ウ 臨済宗

(4) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　イ
ア フビライ・ハン　イ 北条政子　ウ 北条時宗

(5) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　ア
ア 地頭　イ 狂言　ウ 時宗

(6) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　イ
ア 土倉　イ 源義経　ウ 戦国大名

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　イ
ア アイヌ民族　イ 北条時宗　ウ 御家人

(8) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である　ウ
ア 執権　イ 奉公　ウ 臨済宗

(9) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　イ
ア 水墨画　イ 中継貿易　ウ 書院造

(10) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　イ
ア 御家人　イ アイヌ民族　ウ 倭寇

(11) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という　ウ
ア 御伽草子　イ 書院造　ウ 南北朝時代

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　ウ
ア 御家人　イ 北条時宗　ウ 足利義満

(13) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　イ
ア 浄土宗　イ 分国法　ウ 浄土真宗

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である　イ
ア 1392年　イ 1467年　ウ 1428年

(15) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　ア
ア 馬借　イ 土倉　ウ 酒屋

(16) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という　ア
ア 惣　イ 寄合　ウ 座

(17) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　ア
ア 御伽草子　イ 封建制度　ウ 曹洞宗

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　ア
ア 連歌　イ 管領　ウ 南北朝時代

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　ウ
ア 臨済宗　イ 新古今和歌集　ウ 能

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　ア
ア 水墨画　イ 山城国一揆　ウ 御恩

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Dの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　イ
ア 戦国大名　イ 御家人　ウ 守護大名

(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という　ウ
ア 平家物語　イ 分国法　ウ 守護

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　ア
ア 北条政子　イ アイヌ民族　ウ フビライ・ハン

(4) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ　ウ
ア 管領　イ 執権　ウ 六波羅探題

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　ア
ア 北条泰時　イ 足利義政　ウ 馬借

(6) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　イ
ア 運慶　イ 源頼朝　ウ 後醍醐天皇

(7) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　ア
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　ウ
ア アイヌ民族　イ 足利尊氏　ウ 北条時宗

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　ア
ア 運慶　イ 北条泰時　ウ アイヌ民族

(10) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　イ
ア 明　イ 琉球王国　ウ 朝鮮国

(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という　ウ
ア 地頭　イ 永仁の徳政令　ウ 勘合貿易

(12) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　イ
ア 浄土真宗　イ 建武の新政　ウ 狂言

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　イ
ア 倭寇　イ アイヌ民族　ウ 御家人

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　ウ
ア 惣　イ 問　ウ 座

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　ア
ア 分国法　イ 守護　ウ 連歌

(16) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　イ
ア 時宗　イ 土一揆　ウ 書院造

(17) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　ウ
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣

(18) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　ウ
ア 日蓮宗　イ 元寇　ウ 御伽草子

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　ア
ア 連歌　イ 管領　ウ 勘合貿易

(20) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　イ
ア 運慶　イ 雪舟　ウ アイヌ民族

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Eの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　ウ
ア 山城国一揆　イ 新古今和歌集　ウ 壇ノ浦の戦い

(2) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　イ
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ　イ
ア 管領　イ 六波羅探題　ウ 執権

(4) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という　イ
ア 一向一揆　イ 守護　ウ 浄土宗

(5) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　イ
ア 源義経　イ 北条時宗　ウ 後醍醐天皇

(6) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　ウ
ア 承久の乱　イ 能　ウ 永仁の徳政令

(7) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　ウ
ア 新古今和歌集　イ 徒然草　ウ 平家物語

(8) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ　イ
ア 御恩　イ 日蓮宗　ウ 執権

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　イ
ア 源義経　イ 運慶　ウ 後鳥羽上皇

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　イ
ア 狂言　イ 倭寇　ウ 一向一揆

(11) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　ウ
ア 朝鮮国　イ 明　ウ 琉球王国

(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という　ウ
ア 新古今和歌集　イ 永仁の徳政令　ウ 南北朝時代

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　ウ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(14) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　イ
ア 勘合貿易　イ 正長の土一揆　ウ 勘合

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　イ
ア 執権　イ 下剋上　ウ 御伽草子

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　イ
ア 土倉　イ 馬借　ウ 酒屋

(17) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　ア
ア 銀閣　イ 金閣　ウ 東大寺南大門

(18) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　ア
ア 雪舟　イ フビライ・ハン　ウ 足利尊氏

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　イ
ア 正長の土一揆　イ 狂言　ウ 徒然草

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　イ
ア 山城国一揆　イ 連歌　ウ 応仁の乱

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Fの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　ウ
ア 戦国大名　イ 足利義満　ウ 後鳥羽上皇

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　ウ
ア 永仁の徳政令　イ 平家物語　ウ 地頭

(3) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　ウ
ア 日蓮宗　イ 新古今和歌集　ウ 封建制度

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　ア
ア 源義経　イ 北条時宗　ウ 守護大名

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　ア
ア 執権　イ 勘合　ウ 連歌

(6) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　ア
ア 北条泰時　イ アイヌ民族　ウ 足利義満

(7) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ　ウ
ア 水墨画　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 浄土真宗

(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　ア
ア 元寇　イ 守護　ウ 狂言

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　ア
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　ウ
ア 曹洞宗　イ 浄土真宗　ウ 建武の新政

(11) 南北朝が統一されたのは（　　）である　イ
ア 1467年　イ 1392年　ウ 1338年

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　ウ
ア 倭寇　イ 御家人　ウ アイヌ民族

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　イ
ア 徒然草　イ 中継貿易　ウ 封建制度

(14) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　ア
ア 土倉　イ 問　ウ 馬借

(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　イ
ア 時宗　イ 正長の土一揆　ウ 執権

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　イ
ア 曹洞宗　イ 分国法　ウ 壇ノ浦の戦い

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　イ
ア 戦国大名　イ 雪舟　ウ 御家人

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　イ
ア 土一揆　イ 能　ウ 奉公

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　ア
ア 御伽草子　イ 臨済宗　ウ 正長の土一揆

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　ウ
ア 曹洞宗　イ 臨済宗　ウ 連歌

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Gの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という　　ア
ア 守護　イ 土一揆　ウ 下剋上

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　ア
ア 北条泰時　イ フビライ・ハン　ウ 馬借

(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ　　イ
ア 執権　イ 六波羅探題　ウ 管領

(4) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　　ウ
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　　イ
ア 日蓮宗　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 浄土真宗

(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　ア
ア 北条政子　イ 守護大名　ウ 戦国大名

(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ　　ウ
ア 南北朝時代　イ 承久の乱　ウ 日蓮宗

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　ウ
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　ア
ア 運慶　イ 源頼朝　ウ 北条泰時

(10) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　イ
ア 北条政子　イ フビライ・ハン　ウ 足利尊氏

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　　ア
ア 建武の新政　イ 浄土宗　ウ 連歌

(12) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　　イ
ア 狂言　イ 倭寇　ウ 応仁の乱

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　イ
ア 明　イ 琉球王国　ウ 朝鮮国

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　イ
ア 惣　イ 座　ウ 問

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　　ア
ア 分国法　イ 承久の乱　ウ 永仁の徳政令

(16) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　イ
ア 後鳥羽上皇　イ 足利義政　ウ 源義経

(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　　ア
ア 土一揆　イ 浄土宗　ウ 勘合

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　イ
ア 応仁の乱　イ 書院造　ウ 日蓮宗

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　ウ
ア 正長の土一揆　イ 倭寇　ウ 連歌

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　ア
ア 能　イ 勘合貿易　ウ 一向一揆

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Hの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　ウ
ア 正長の土一揆　イ 下剋上　ウ 承久の乱

(2) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　ウ
ア 土倉　イ 守護大名　ウ 北条泰時

(3) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　　ア
ア 封建制度　イ 永仁の徳政令　ウ 浄土宗

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　イ
ア 足利尊氏　イ 源頼朝　ウ 足利義満

(5) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　ア
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(6) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である　　ア
ア 浄土宗　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 山城国一揆

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　ウ
ア 源頼朝　イ 土倉　ウ フビライ・ハン

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　ウ
ア 後醍醐天皇　イ 足利尊氏　ウ 運慶

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　イ
ア 御恩　イ 永仁の徳政令　ウ 執権

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　ア
ア 後醍醐天皇　イ 後鳥羽上皇　ウ 足利義政

(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　　ア
ア 管領　イ 時宗　ウ 御恩

(12) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　ウ
ア 守護大名　イ 運慶　ウ 足利義政

(13) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　ア
ア 下剋上　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 守護

(14) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　イ
ア 能　イ 山城国一揆　ウ 水墨画

(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　ア
ア 土倉　イ 馬借　ウ 問

(16) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　ア
ア 連歌　イ 管領　ウ 地頭

(17) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　　ウ
ア 地頭　イ 浄土真宗　ウ 水墨画

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　イ
ア 正長の土一揆　イ 能　ウ 時宗

(19) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である　　ア
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　イ
ア 中継貿易　イ 御伽草子　ウ 勘合貿易

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Iの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　　ウ
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　イ
ア 勘合貿易　イ 地頭　ウ 連歌

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である　　イ
ア 1232年　イ 1221年　ウ 1274年

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　　ウ
ア 1221年　イ 1281年　ウ 1232年

(5) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　ウ
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 源頼朝

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　ウ
ア 応仁の乱　イ 連歌　ウ 執権

(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　イ
ア 足利尊氏　イ 運慶　ウ 後鳥羽上皇

(8) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　ア
ア フビライ・ハン　イ 北条政子　ウ 馬借

(9) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　イ
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(10) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　ウ
ア 一向一揆　イ 正長の土一揆　ウ 永仁の徳政令

(11) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　　ウ
ア 能　イ 御恩　ウ 倭寇

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　イ
ア 朝鮮国　イ 琉球王国　ウ 明

(13) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　ウ
ア 戦国大名　イ 足利義政　ウ 後醍醐天皇

(14) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　ア
ア 下剋上　イ 奉公　ウ 御成敗式目

(15) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という　　ア
ア 一向一揆　イ 奉公　ウ 新古今和歌集

(16) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　イ
ア 徒然草　イ 応仁の乱　ウ 狂言

(17) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　ア
ア 山城国一揆　イ 勘合　ウ 地頭

(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　イ
ア 惣　イ 座　ウ 問

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　ア
ア 狂言　イ 日蓮宗　ウ 土一揆

(20) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　　ウ
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 水墨画

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Jの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　　イ
ア 土一揆　イ 封建制度　ウ 平家物語

(2) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　ア
ア 執権　イ 倭寇　ウ 応仁の乱

(3) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という　　ウ
ア 勘合貿易　イ 勘合　ウ 守護

(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　　イ
ア 元寇　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 管領

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　イ
ア 後醍醐天皇　イ 北条泰時　ウ 戦国大名

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である　　イ
ア 御成敗式目　イ 時宗　ウ 奉公

(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である　　ウ
ア 徒然草　イ 平家物語　ウ 新古今和歌集

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　ア
ア 運慶　イ 足利義政　ウ 後鳥羽上皇

(9) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　　イ
ア 足利義政　イ 北条時宗　ウ 足利尊氏

(10) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　ウ
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(11) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　ア
ア 永仁の徳政令　イ 承久の乱　ウ 建武の新政

(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　ウ
ア 運慶　イ 雪舟　ウ 後醍醐天皇

(13) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　　ウ
ア 山城国一揆　イ 下剋上　ウ 倭寇

(14) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　ウ
ア 明　イ 朝鮮国　ウ 琉球王国

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　ア
ア 山城国一揆　イ 地頭　ウ 南北朝時代

(16) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　ウ
ア 御家人　イ 足利義満　ウ 足利義政

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　ア
ア 土倉　イ 馬借　ウ 問

(18) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　　イ
ア 時宗　イ 分国法　ウ 勘合貿易

(19) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　ウ
ア 勘合　イ 管領　ウ 能

(20) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　イ
ア 倭寇　イ 書院造　ウ 勘合

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Kの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　ア
ア 御成敗式目　イ 永仁の徳政令　ウ 分国法

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　イ
ア 南北朝時代　イ 御恩　ウ 下剋上

(3) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　ウ
ア 永仁の徳政令　イ 元寇　ウ 承久の乱

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　　イ
ア 足利義満　イ 源義経　ウ 北条時宗

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　イ
ア 正長の土一揆　イ 執権　ウ 曹洞宗

(6) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である　　イ
ア 倭寇　イ 曹洞宗　ウ 勘合

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　ア
ア 元寇　イ 地頭　ウ 御成敗式目

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　ウ
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　ウ
ア 分国法　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 永仁の徳政令

(10) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　ア
ア 足利尊氏　イ 北条時宗　ウ 後鳥羽上皇

(11) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という　　ウ
ア 地頭　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 勘合

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　ア
ア 守護大名　イ 御家人　ウ 戦国大名

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　ウ
ア 曹洞宗　イ 臨済宗　ウ 中継貿易

(14) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　イ
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という　　イ
ア 寄合　イ 惣　ウ 座

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　　イ
ア 土倉　イ 馬借　ウ 酒屋

(17) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　イ
ア 守護　イ 書院造　ウ 新古今和歌集

(18) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　　ウ
ア 東大寺南大門　イ 金閣　ウ 銀閣

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　イ
ア 山城国一揆　イ 狂言　ウ 奉公

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　イ
ア 臨済宗　イ 御伽草子　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Lの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　ア
ア 御成敗式目　イ 能　ウ 水墨画

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　ウ
ア 時宗　イ 徒然草　ウ 御恩

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である　　イ
ア 1274年　イ 1221年　ウ 1232年

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　　ウ
ア 運慶　イ 後醍醐天皇　ウ 源義経

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　ウ
ア 勘合貿易　イ 御伽草子　ウ 執権

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である　　ア
ア 時宗　イ 山城国一揆　ウ 封建制度

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　イ
ア 能　イ 元寇　ウ 御恩

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　イ
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　ア
ア 永仁の徳政令　イ 下剋上　ウ 建武の新政

(10) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という　　イ
ア 曹洞宗　イ 勘合　ウ 水墨画

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　イ
ア 北条時宗　イ 足利尊氏　ウ 雪舟

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　ウ
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　ウ
ア 明　イ 朝鮮国　ウ 琉球王国

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である　　ウ
ア 1428年　イ 1392年　ウ 1467年

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という　　ウ
ア 座　イ 寄合　ウ 惣

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　イ
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　ウ
ア 問　イ 馬借　ウ 土倉

(18) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　ウ
ア 後鳥羽上皇　イ 北条泰時　ウ 雪舟

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　ウ
ア 倭寇　イ 南北朝時代　ウ 狂言

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　イ
ア 応仁の乱　イ 御伽草子　ウ 分国法

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Mの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　ウ
ア 勘合　イ 南北朝時代　ウ 御恩

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　　イ
ア 1221年　イ 1232年　ウ 1281年

(3) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　ア
ア 北条政子　イ 土倉　ウ 運慶

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　ア
ア 源頼朝　イ アイヌ民族　ウ 雪舟

(5) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である　　ウ
ア 能　イ 奉公　ウ 曹洞宗

(6) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である　　イ
ア 平家物語　イ 新古今和歌集　ウ 徒然草

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　ウ
ア 源義経　イ 足利尊氏　ウ フビライ・ハン

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　イ
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である　　イ
ア 1467年　イ 1392年　ウ 1338年

(10) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　　ア
ア 管領　イ 一向一揆　ウ 新古今和歌集

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　ウ
ア 御家人　イ 北条時宗　ウ 足利尊氏

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　イ
ア 承久の乱　イ 中継貿易　ウ 水墨画

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　イ
ア 御家人　イ アイヌ民族　ウ 倭寇

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　ア
ア 応仁の乱　イ 徒然草　ウ 勘合

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　　ウ
ア 南北朝時代　イ 時宗　ウ 土一揆

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　イ
ア 御家人　イ 戦国大名　ウ 守護大名

(17) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　ア
ア 座　イ 惣　ウ 問

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　ア
ア 書院造　イ 執権　ウ 山城国一揆

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　イ
ア 下剋上　イ 狂言　ウ 奉公

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　ア
ア 御伽草子　イ 分国法　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Nの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　ウ
ア 勘合　イ 応仁の乱　ウ 承久の乱

(2) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　ア
ア 御成敗式目　イ 新古今和歌集　ウ 土一揆

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　　ア
ア 奉公　イ 応仁の乱　ウ 勘合

(4) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　イ
ア 平家物語　イ 地頭　ウ 一向一揆

(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　　ア
ア 壇ノ浦の戦い　イ 水墨画　ウ 浄土真宗

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　イ
ア 建武の新政　イ 執権　ウ 徒然草

(7) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である　　ウ
ア 中継貿易　イ 水墨画　ウ 浄土宗

(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　ウ
ア 奉公　イ 勘合　ウ 元寇

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　ア
ア 平家物語　イ 徒然草　ウ 新古今和歌集

(10) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　イ
ア 北条泰時　イ 足利義満　ウ 源頼朝

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　ア
ア 足利尊氏　イ 土倉　ウ フビライ・ハン

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　ア
ア 中継貿易　イ 御伽草子　ウ 曹洞宗

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　ア
ア アイヌ民族　イ 御家人　ウ 倭寇

(14) 応仁の乱が始まったのは（　　）である　　ア
ア 1467年　イ 1428年　ウ 1392年

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という　　ウ
ア 座　イ 寄合　ウ 惣

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　　ア
ア 馬借　イ 酒屋　ウ 土倉

(17) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　イ
ア 奉公　イ 下剋上　ウ 壇ノ浦の戦い

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　ア
ア 書院造　イ 曹洞宗　ウ 正長の土一揆

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　イ
ア 守護　イ 狂言　ウ 南北朝時代

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　ア
ア 御伽草子　イ 承久の乱　ウ 分国法

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Oの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　イ
ア 足利義満　イ 後鳥羽上皇　ウ アイヌ民族

(2) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　ウ
ア 1281年　イ 1221年　ウ 1232年

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　ア
ア 御恩　イ 浄土真宗　ウ 臨済宗

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　イ
ア 土倉　イ 源義経　ウ 戦国大名

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　イ
ア 雪舟　イ 北条政子　ウ 守護大名

(6) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である　ウ
ア 勘合　イ 建武の新政　ウ 臨済宗

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　イ
ア 後鳥羽上皇　イ フビライ・ハン　ウ 土倉

(8) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　イ
ア 応仁の乱　イ 永仁の徳政令　ウ 下剋上

(9) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　ア
ア 徒然草　イ 新古今和歌集　ウ 平家物語

(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　イ
ア 後醍醐天皇　イ 運慶　ウ 源義経

(11) 南北朝が統一されたのは（　　）である　ウ
ア 1338年　イ 1467年　ウ 1392年

(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　ア
ア 後醍醐天皇　イ 北条時宗　ウ 足利義政

(13) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　ア
ア 管領　イ 能　ウ 元寇

(14) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　ア
ア 琉球王国　イ 朝鮮国　ウ 明

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　ウ
ア 時宗　イ 御伽草子　ウ 土一揆

(16) 応仁の乱が始まったのは（　　）である　イ
ア 1428年　イ 1467年　ウ 1392年

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　ウ
ア 問　イ 馬借　ウ 土倉

(18) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　イ
ア 守護大名　イ 戦国大名　ウ 御家人

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　イ
ア 戦国大名　イ 雪舟　ウ 足利尊氏

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　イ
ア 応仁の乱　イ 狂言　ウ 浄土宗

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Pの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　　ア
ア 奉公　イ 平家物語　ウ 倭寇

(2) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　ウ
ア 臨済宗　イ 時宗　ウ 承久の乱

(3) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　イ
ア 永仁の徳政令　イ 御成敗式目　ウ 浄土真宗

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　ウ
ア 後醍醐天皇　イ 足利義満　ウ 源頼朝

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　ウ
ア フビライ・ハン　イ 後醍醐天皇　ウ 北条政子

(6) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ　　ア
ア 日蓮宗　イ 倭寇　ウ 能

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　ア
ア 元寇　イ 倭寇　ウ 能

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　イ
ア 後鳥羽上皇　イ 運慶　ウ 足利尊氏

(9) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　ア
ア 足利義満　イ 馬借　ウ 土倉

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という　　ア
ア 南北朝時代　イ 平家物語　ウ 水墨画

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　ウ
ア 戦国大名　イ 御家人　ウ 守護大名

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　ア
ア 琉球王国　イ 朝鮮国　ウ 明

(13) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　　ア
ア 正長の土一揆　イ 奉公　ウ 執権

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　ア
ア 応仁の乱　イ 壇ノ浦の戦い　ウ 元寇

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　ア
ア 下剋上　イ 永仁の徳政令　ウ 中継貿易

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　　ウ
ア 酒屋　イ 土倉　ウ 馬借

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　イ
ア 運慶　イ 雪舟　ウ 後鳥羽上皇

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　イ
ア 封建制度　イ 能　ウ 執権

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　ア
ア 連歌　イ 勘合貿易　ウ 平家物語

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　ウ
ア 守護　イ 徒然草　ウ 御伽草子

中1 社会 歴史 中世 選ぶ（20問）　版Qの答え

※ 答えはア～ウの記号です。

（　　）に入る言葉をア～ウから1つ選んで、右の欄に記号を書きましょう。

(1) 鎌倉幕府で武士をまとめた役所を（　　）という　ウ
ア 問注所　イ 政所　ウ 侍所

(2) 鎌倉幕府で裁判の仕事を受け持った役所を（　　）という　ウ
ア 侍所　イ 政所　ウ 問注所

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　ウ
ア 御伽草子　イ 土一揆　ウ 奉公

(4) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　イ
ア 元寇　イ 御成敗式目　ウ 中継貿易

(5) 鴨長明が書いた随筆が（　　）である　イ
ア 枕草子　イ 方丈記　ウ 徒然草

(6) 博多湾の沿岸に築かれた石の防壁を（　　）という　ウ
ア 分国法　イ 山城国一揆　ウ 防塁

(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である　ア
ア 新古今和歌集　イ 平家物語　ウ 徒然草

(8) 関東を治めるために置かれた機関が（　　）である　イ
ア 侍所　イ 鎌倉府　ウ 六波羅探題

(9) 李成桂が高麗をたおして建てた国が（　　）だ　イ
ア 高麗　イ 朝鮮国　ウ 明

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　ウ
ア 足利義政　イ 北条政子　ウ 後醍醐天皇

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　イ
ア 戦国大名　イ 守護大名　ウ 御家人

(12) 同じ田畑で1年に米と麦などをつくる方法を（　　）という　ア
ア 二毛作　イ 中継貿易　ウ 連歌

(13) 会合衆とよばれる豪商たちが自治を行った都市は（　　）である　ア
ア 堺　イ 長崎　ウ 鎌倉

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という　イ
ア 奉公　イ 一向一揆　ウ 地頭

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　イ
ア 浄土真宗　イ 山城国一揆　ウ 平家物語

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　イ
ア 平家物語　イ 分国法　ウ 勘合貿易

(17) 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある文化が（　　）だ　ウ
ア 北山文化　イ 天平文化　ウ 東山文化

(18) 石や砂で山や水の流れを表した庭園を（　　）という　イ
ア 封建制度　イ 枯山水　ウ 曹洞宗

(19) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である　ウ
ア 銀閣　イ 東大寺南大門　ウ 金閣

(20) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　ウ
ア 金閣　イ 東大寺南大門　ウ 銀閣